

東海道五十三次 27 番目の宿場



令和 7 年 1 月 24 日
袋井市長定例記者会見資料
教育部生涯学習課

「袋井市こども交流館あそびの杜」整備基本計画を策定

～遊び、学び、体験が楽しめる“子どもの居場所／にぎわいの拠点”づくり～

◇子どもたちが天候に左右されず、あそびを楽しむ環境を提供する「袋井市こども交流館あそびの杜」の整備基本計画を2024年（令和6年）12月に策定した。

◇あそびの杜は、浅羽支所を改修し、好奇心や豊かな感性、創造力、コミュニケーション能力を育む「遊びゾーン」、「学びと体験ゾーン」、「にぎわいと憩いのゾーン」の3つのゾーンで構成される施設として整備する。

◇あそびの杜は、2027年度末（令和9年度末）の開館を目指して整備を進める。総事業費は13～15億円と試算する。

【概要】

1 背景・経過

2019年度（令和元年度）、市南部地域の拠点として浅羽支所の利活用について検討を開始したところ、子育てサービスに対する重要度が高まっているとして、子育て施設及びにぎわい創出施設として整備することが決定した。2022年度（令和4年度）に基本構想を策定し、市民とのワークショップや意見交換を経て2024年（令和6年）12月に「袋井市こども交流館あそびの杜」の整備基本計画を策定した。

※当該計画の概要は別紙のとおり。

2 あそびの杜整備のポイント

- （1）それぞれ「遊びゾーン」、「学びと体験ゾーン」、「にぎわいと憩いのゾーン」にゾーニングする
- （2）子どもたちが伸び伸びとあそびを楽しめるよう、和やかな雰囲気を創出する
- （3）子どもから大人まで幅広い年代が集い、交流できるよう屋内外に広場を整備する
- （4）子育て世代に配慮し、使いやすいトイレ等の充実を図る
- （5）あそびの杜と浅羽支所がそれぞれ十分機能するよう、子どもたちが過ごす場所と支所の機能を有する場所を区分して配置する

【イメージ】



【ワークショップの様子】



【お問い合わせ先】

袋井市 教育部 生涯学習課 文化振興係（担当：岡本、安田）

電話：0538-86-3192 FAX：0538-86-3666 メール：syougai@city.fukuroi.shizuoka.jp

3 総事業費（試算）

施設整備に係る概算工事費は、次にかかる改修費用の合計13～15 億円（税込）と試算する。

- (1) あそびの杜及び支所機能に係る改修
- (2) 施設の長寿命化に係る改修
- (3) 法令により必要となる改修

※今後の設計の結果、物価の影響などにより、総事業費が変動する可能性あり

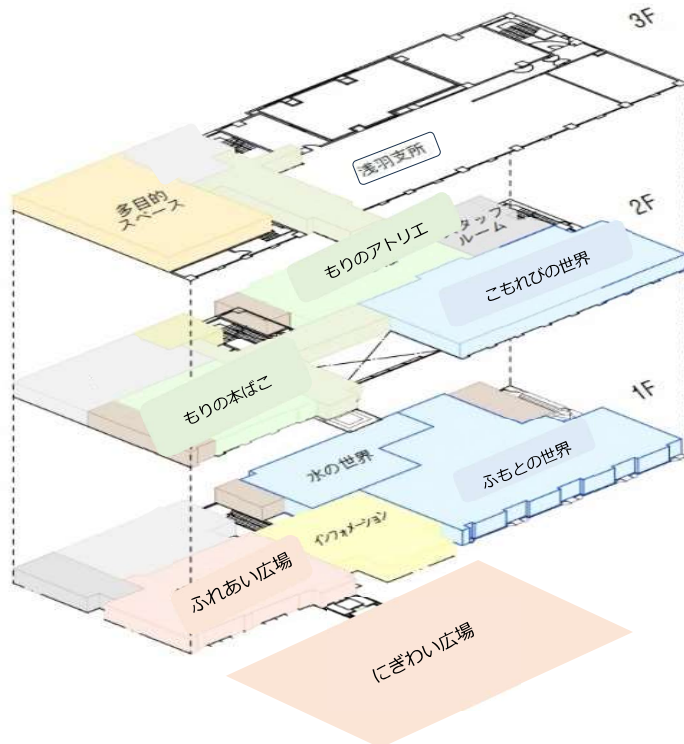
4 今後のスケジュール（予定）

2025年度（令和7年度）：設計業務

2026年度（令和8年度）：工事開始

2027年度（令和9年度）：工事完了、開館（年度末を予定）

※スケジュールは基本計画策定時のものであり、設計業務を経て変更になる可能性がある。



【ゾーニング】

遊びゾーン

学びと体験ゾーン

にぎわいと憩いのゾーン

浅羽支所(支所機能)

※支所機能は1階から3階に移転

【基本計画全文】



5 浅羽支所周辺のにぎわいづくり

浅羽支所周辺は、メロープラザ、浅羽図書館、郷土資料館・近藤記念館など多彩な施設が集積し、文化や歴史、読書など様々な文化活動に触れることができるエリアである。

このエリアにあそびの杜を整備することで、子どもから大人まで幅広い層が集い、様々な体験や交流が生まれる場所にするとともに、地域の方々の活躍の場として、さらなるにぎわいを創出する。



【お問い合わせ先】

袋井市 教育部 生涯学習課 文化振興係（担当：岡本、安田）

電話：0538-86-3192 FAX：0538-86-3666 メール：syougai@city.fukuroi.shizuoka.jp

袋井市こども交流館 あそびの杜 整備基本計画の概要

和やかな雰囲気の中、 **遊び 学び 体験** を存分に楽しむことができる、自然豊かな森とそびえる大樹をモチーフとした空間装飾を施した“子どもの居場所”



イメージ

浅羽支所の機能は維持した上で、 **こども交流館「あそびの杜」** として改修します。
この施設では、 **子どもたちの個性や意欲を尊重し、主体的にあそぶことができる機会や環境を提供します。**

■遊びゾーン 雨や猛暑の日も、天候を気にせず体を使って遊べる

- ①ふもとの世界 全身を使って遊べる遊具を設置。乳児、幼児、学童の3つのエリアに分けることで各年代が安心して遊ぶことができる。
- ②水の世界 デジタルコンテンツによって遊べる。
- ③こもれびの世界 小学生以上が全身を使った遊びのほか、ボードゲームや昔の遊びも楽しむことができる。

■学びと体験ゾーン 創作体験や読書を通して学びや体験ができる

- ④ワークショップルーム「もりのアトリエ」 体験型ワークショップやギャラリー機能など文化に親しむ場
- ⑤子ども図書館「もりの本ばこ」 好きなスタイルでじっくりと本と触れ合う場

■にぎわいと憩いのゾーン 様々な人々が集まり交流や休憩ができる

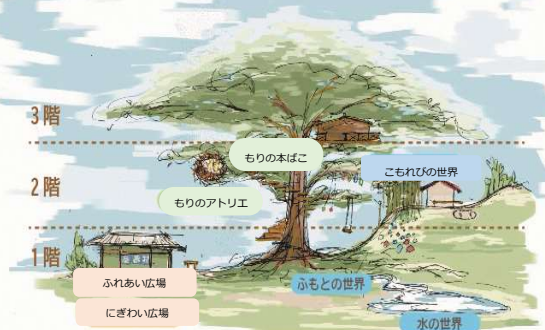
- ⑥休憩コーナー「ふれあい広場」 誰でも利用でき、軽食や休憩がとれる憩いの場
- ⑦屋外広場「にぎわい広場」 休日やイベント時には、キッチンカーを設置

【改修のポイント】

- 1 あそびの杜と浅羽支所のそれぞれの機能が十分発揮できるよう、子どもが思い切り遊ぶゾーンと支所とを区分して配置
- 2 子どもたちが伸び伸びとあそびを楽しめるよう、和やかな雰囲気を創出
- 3 「遊びゾーン」「学びと体験ゾーン」「にぎわいと憩いのゾーン」を整備
- 4 子育て世代から要望が多かったトイレの充実等、使いやすさに配慮
- 5 子どもから大人まで幅広い年代が集い、交流できるよう屋内外に広場を整備

【浅羽支所の概要】

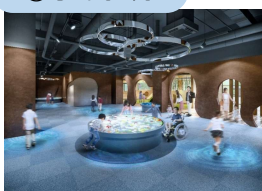
建築年月 1984年（S59年）4月 鉄筋コンクリート 地上3階建
建築面積 1048㎡ 延床面積 2,763㎡



⑤もりの本ばこ



②水の世界



⑥ふれあい広場



3F



2F



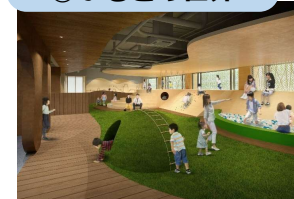
1F



< 凡例 >

- 遊びゾーン
- 学びと体験ゾーン
- にぎわいと憩いのゾーン

①ふもとの世界



浅羽支所周辺の にぎわいづくり

あそびの杜と周辺施設が連携し、様々な年代の人々が集い、交流するにぎわいの拠点を目指します。

